



(公財)兵庫県国際交流協会主催
令和8年度 日本語教師のための
チャレンジ! 地域日本語教育研修

地域日本語教育って 何なん?

参加無料!

地域って何なん?

参照枠って
どんなん?

第1回 10月2日(金)
18:30~20:30

生活者に対する
地域日本語教育とは

講師: 佐藤 智照 氏
(島根大学)

第2回 10月16日(金)
18:30~20:30

学習者を社会的存在として捉える
—「日本語教育の参照枠」の理念—

講師: 真嶋 潤子 氏
(国際交流基金関西国際センター)

兵庫県は
どうなん?

第3回 10月30日(金)
18:30~20:30

兵庫県の教師にインタビュー
—地域で活動する教師の体験談—

ファシリテーター: 金澤 協子 氏
(HIA地域日本語教育コーディネーター)

全3回
オンライン開催



お申込みは裏面へ
締切 9月29日(火)



主催: 公益財団法人 兵庫県国際交流協会 (HIA)



文部科学省

令和8年度地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業



令和8年度兵庫県地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業

ごあいさつ

兵庫県や近隣府県の 日本語教師の みなさんへ

令和元年に日本語教育推進法が施行され、地域での日本語教育のあり方が大きく変化しようとしています。今後、地域日本語教育の分野で活躍する人材はさらに必要とされるでしょう。

これまで地域の日本語教室に関わる機会がなかったみなさん、地域日本語教育って何なん？と気になっているみなさん、生活者としての外国人に対する日本語学習支援に日本語教師がどのように関わっていけるのか、いっしょに考えてみませんか。それはきっと、日本語教師としての活動の幅を広げるきっかけになるはずです。

ご紹介

第1回 佐藤 智照 氏

島根大学外国語教育センター 准教授

日本語学習者の言語情報処理と日本語教育の評価・カリキュラム開発を研究テーマとし、異文化理解教育や多文化共生を支える日本語教育の実践・研究にも取り組む。文化庁「日本語教育の参照枠」活用ワーキンググループ協力者、「生活Can do」有識者会議アドバイザー等を歴任。島根県の地域日本語教材や「生活Can do」を活用した地域日本語カリキュラムの開発・監修に携わる。

お申込み

■ 対象

有資格の日本語教師の方、または日本語教師養成コース在籍中の方で、地域日本語教育に関心を持ち、兵庫県または隣接する府県に在住の方
※授業の経験がなくても構いません

■ 申込方法

当協会HPまたは二次元コードの申込フォームからお申し込みください

※申込多数の場合は兵庫県内の方、全日程参加できる方を優先します

URL <https://ourl.jp/IGAk5>

締切 2026年9月29日（火）／ 定員 60名

■ お問い合わせ

公益財団法人 兵庫県国際交流協会（HIA）多文化共生課

Mail: nihongoatto@net.hyogo-ip.or.jp / Tel : 078-230-3261

※「あっと」を「@」に変えてください。

第2回 真嶋 潤子 氏

国際交流基金関西国際センター 所長
大阪大学 名誉教授

私は日本語教育学、外国語教育学、言語教育政策を専門として「ヨーロッパ言語共通参照枠CEFR」に四半世紀以上注目してきました。多くの教え子が、国内外で日本語教育関係の専門職に就いて活躍しているのが誇りです。「公正」な言語教育、学習者と受け入れ社会の市民の幸せ（well-being）のための言語教育を考えています。この機会にCEFRを元にした「日本語教育の参照枠」の理念と一緒に見てみましょう。

第3回 金澤 協子 氏

HIA地域日本語教育コーディネーター

意中の大学は不合格。浪人を希望するも、妹が居るのだから、進学しろ！と言われました。思い悩んでいたら、母が雑誌で「私大初の日本語学科！」との謳い文句を見付け、大学1期生として歩み始めました。「日本語」の授業は、目からウロコの毎日で、どっぷり日本語教育界隈にハマっています。学部卒業時、父の先輩が日本語学校開校との事。大学院進学と並行し、日本語教師の道をまっしぐら。教師1年目より、地域日本語にも関わり、楽しく陰しい日本語道、邁進中です。

お申し込みはこちら⇒

